

桐島こより

## ひよこの学校、ふたりのヴェロニカ

——殺される！——

読み終えた小説を慌てて隠す  
空の弁当箱が微かに音を立てる  
薄暗い教室 欠伸する隣人  
冷や汗をかく私 囀る小鳥  
啄まれる精神 踏まれるイエス  
転ばされる作家 留まるひよこ

濡れた手でブックカバーを密かに握りしめる  
読んではいけない本を読んだと震え上がる  
血を流し保健室で寝込む  
沈黙が響く

作家と同じものを覗き込んだ  
埒外に生き異教徒と蔑まれながら  
困われた羊の苦境を想った  
その場に涙を拭った女がいたとは知らず

堅牢な門の門が抜かれる日が来た  
私たちは飛び立った 光の中へ 南を目指し

眩しそうに見上げる目  
今年も留まるひよこ  
天からハンカチが降る  
やがて雷鳴が轟く